

指定管理施設（サンホーム滝呂）事業評価表
滝呂老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度 評価	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H28 年度			
いきが いづくり、 教養講座 運営事業	1	パソコン教室	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		ワード・エクセル基礎	10	24	4～9月毎週水曜日	いきがいづくりとして 就業や生活に役立つ 技術を身につけて ゆく。		24	337	●28年度は基礎コースを2期実施。定員10人を超える前期14人、後期12人受講。初心者向けで、まったくの新規受講生が多かったが、講師、アシスタントのフォローも手厚く、満足して受講いただけた。2期基礎を実施することで、2期とも受講し、自信をつけられる方も多かった。
		ワード・エクセル基礎	10	24	10～3月毎週水曜日			24	222	
		小計		48				48	559	
		趣味教養の教室	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		マクラメ教室	15	24	第1・3火曜日	趣味や教養の向上を 目的とするとともに、 楽しく充実した生活が 送れるよう、仲間作りの 場を提供する。		23	350	●手芸をやりたい方々に人気。季節の飾り物を中心に実施。受講生が15人から、男性を含む17人に増加。講師が各自レベルに合わせて指導を工夫し、長年受講される方々から初心者まで気負うことなく、途中辞退者や欠席者も少なく、充実して受講いただくことができた。
		ペン習字教室	15	24	第2・4水曜日			24	381	●27年度、受講生が定員以上に増えたことと、継続に意味があるという講師の意向から、28年度は新規募集を行わず、継続者23人で実施。各自のレベルに合わせ、ボールペン、筆ペン、万年筆などを懇切丁寧に教えてくださる講師が人気。家族、当人の体調不良等の途中辞退者はあったが、人気の教室となっている。
		混声歌声教室	50	12	第2火曜日			11	516	●受講生65人と人気。男性受講生が入りやすいよう『混声歌声教室』に変更し男性5人に増加。音楽療法士の講師が、歌脳トレや本格的な2～3部合唱も盛り込みながら楽しく講義し、月に一回の楽しみ、と60代から90代まで幅広く受け入れられている。年一回の秋まつりでの発表は、意欲へとつながっている。
		セラリーナ教室	10	24	第2・4火曜日			25	283	●参加者11人から12人に増加。滝呂発祥の楽器、ということで、イベント発表やデイサービスへの慰問活動も精力的に行い、やりがいにつながっている。休みも少なく安定した教室となっている。
		はなまる編み物教室	12	12	第1金曜日			12	94	●各自レベルに合わせた指導と、講師が持つ多量の資料から、各自希望のものを教えてもらえ、また、実用できる物を作成できるため、喜ばれている。講師の気さくさとわかりやすい指導で、和気あいあいとしたクラスになっている。継続受講者の高齢化で受講者数が減少していたが、若年層の受講生が新規で入り、世代交代がされつつある。月一回の教室に通うことと、自宅での制作活動が意欲につながっている。
		園芸教室	20	4	6/7・9/6 12/6・3/7			4	80	●受講希望者が多く抽選で22人受講。キャンセル待ちもあり、安定した人気教室。講師のご厚意で、安価で季節に合った寄せ植えと技法を受講でき、人気が高い。もっと回数を増やしてほしい、との希望もあり、好評を得ている。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
いきが いづ くり、 教養 講座 運 営 事 業 (続 き)	1	初心者健康麻雀教室A	12	24	第1・3月曜日		24	276	●未経験者を中心として開講。部屋の大きさ等の都合で12人を上限とするが、受講生13人と増加、7人が男性。『健康的で綺麗な(飲まない吸わない賭けない)麻雀』を教えて頂き、初心者の女性も入りやすい。60代が中心で、団塊の世代の男性獲得につながっている。
		初心者健康麻雀教室B	12	24	第2・4木曜日		24	298	●Aクラスを卒業した、中級レベルを中心に開講。13人中9人が男性と、男性利用者獲得に繋がっている。高齢(80代中心)クラスだが、認知症予防、閉じこもり予防として家族から申請された方が多い。年度末には『おさらい会』という大会も実施。上達具合を確認でき、意欲にもつながっている。
		やさしい川柳教室【11月中止】	15	24	第1・3月曜日		12	101	●受講生が10人と増加したところで、講師の病気により11月中止。受講生と会議を実施し『継続受講はしたいが、新講師ではなく、現講師の教室を受講したい』との強い希望で、閉講。
		男塾 工作編【単発】							●「男塾 道具を使った運動教室」を新規開催したため、28年度は実施せず。
		男塾 料理入門編	8	12	第4木曜日		12	113	●男性対象教室。使用場所の都合上、定員8人のところ10人受講、半数は新規参加。男性同士気軽にできると好評。だしの取り方や包丁の使い方など料理の基礎から、家にあるもので簡単にできる手抜き料理など実施。『自宅ではなかなか実践できないが、みんなで作り、話しながら食べることが楽しみ』と、喜ばれている。チーム分けしての『料理対決』や『おかし作り』等、男性の好奇心をあおるような、飽きの来ない工夫をして好評を得ている。
		男塾 道具を使った運動教室【新】	8	1	第1・3金曜日		24	189	●『女性と一緒に運動は気恥ずかしい』の声から、男性限定で運動教室を新規開講。10人受講。機能重視、即効性のある運動で好評を得、楽しんで受講いただけている。
		小計		185			195	2,681	
		計		233		14	243	3,240	
自立 生活 維持 支 援 事 業	1	運動教室	定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		元気印健康教室	15	10	第2・4月曜日	健康増進や体力作りを行うことによつて、自立した生活が維持できることを目指す。	21	232	●受講生16人。28年度から月2回に増加。包括支援センターや専門講師と連携を取りながら実施し、アンケートで人気のあった『コグニサイズ』や『3B体操』、『5歳の歩き方』『自宅でもできる運動』などを複数回コースに組み、家トレにつながる運動を中心に実施。運動だけでなく『血圧の話』『脳トレ』など高齢者に必要な情報も発信し、楽しみながら健康作りに生かしていただいた。単発受講も受け付け、興味のある方に気軽に受けてもらえるよう工夫をした。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
自立生活維持支援事業（続き）	1	筋力アップ体操教室	30	20	第2・4月曜日		19	450	●60代の若年層をターゲットに切り替え、『簡単筋力アップ教室』から『筋力アップ教室』に変更。時間を15分延長し、他教室よりも激しめの運動や、立って行う運動を中心に切り替え、リズム体操や筋トレ、バランスディスク、脳トレ運動などを行って、飽きずに楽しめる内容で実施。運動についていけない <u>80代以上の方の受け皿として、『80代・90代以上の体操教室【新】』を開講したことで、残った若年層32人に受講いただけた。『毎週開催にしてほしい』との意見が出るほど人気となっている。</u>
		バランスボール教室	35	48	毎週木曜日		45	1,455	●継続10年の教室で人気が高く、抽選で定員37人受け入れ。キャンセル待ち6人（総受講者数40人）。講師の目配りや声掛けも細かくあり、1回の受講平均32人と休みも少なく、楽しく受講いただいている。小学校長期休暇中は区民会館で『バランスディスク』を実施。毎週実施することで体調管理できている、と喜ばれている。
		太極拳教室	20	21	第1・3月曜日		19	261	●受講生18人中3人が男性。男性も入りやすいと、長年人気教室。継続しての受講生の高齢化が進み、病休等多かったため、受講生や受講数が減少。しかし、アシスタントも2人おり、丁寧な講師の指導も好評。60代前半から90歳近くまで幅広い年齢に人気で、『どの年代にも無理がない』、『講師が懇切丁寧』、と口コミで広がっている。
		ゆったりピラティス教室A	12	24	4～3月第2・4木曜日		23	241	●『リハビリが元になっている体操』で、『膝腰が痛い高齢者にも無理がない』と好評を得、12人定員のところ、高齢層の多いAクラス15人、若年層Bクラス11人と人気。『 <u>円背の方の姿勢が良くなった</u> 』『腰痛、ひざ痛が和らいだ』など効果的で好評。12月の講師転居に伴い閉講も考えたが、受講生の強い希望で1月から新講師に交代。
		ゆったりピラティス教室B	12	24	4～3月第2・4木曜日		23	186	
		80代・90代の体操教室【新】	10	24	4～3月第1・3月曜日		20	174	80代以上を対象とした転倒予防教室を新規開催。『筋力アップ』など他教室の高齢受講者などが切り替えて受講された。最高齢は90歳、平均83歳で14人で実施。60代の方にボランティアをお願いし、シルバーボランティアにもつながる。筋トレ、脳トレ運動、足ほぐしなどを中心に実施。年齢的に開催日を忘れたり、体調悪化、骨折などで欠席は多いが、教室受講再開を目標にされたり、教室のおかげで外に出られるという方も多く、教室に参加しなくなる80代以上の閉じこもり予防にもつながっている。
		卓球教室【新】		2	3月16日 3月23日		2	10	3月30日卓球大会の参加者を集めるため開催。笠原アザレアホールの卓球クラブに声をかけ、新規参加者獲得につながった。この教室を機に、次年度、児童センターと新規『長期休暇中の合同教室』につなげることを計画。
		小計		173			172	3,009	
		相談事業	定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		健康相談		12	第4火曜日 午前	包括支援センターの職員(看護師)による健康指導・相談、介護保険などの相談。血圧測定を行う。	12	113	●血圧計を新規購入したことで、利用人数は減ったが、包括支援センターの看護師に直接相談できる時間であるため、安心して相談に来るリピーターが多い。少人数の利用ながら、継続した健康管理や介護予防、家族の介護について等の相談をされており、『気軽に健康管理、相談できる場』としてPRを継続したい。
		健康相談		12	第3水曜日 午後		12	58	
		小計		24			24	171	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取り組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
		計		197			12	196	3,180	
多世代 交流事業	1		定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		ふれあい夏まつり(27年度『ふれあい滝呂湯と昭和を楽しもう』から名前変更)		1	7月21日	子ども・高齢者・障がい者等誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。		1	200	●児童センターとの合同事業。昨年は夕方から夜開催としたが、少し早めて14時から18時開催とした。『伝承遊び』や、大人向け・子供向けの『映画会』、学習館に協力を仰いだ『昭和初期の多治見の写真展示会』等が好評。暑いさ中の持ち帰りを危惧して飲食販売を縮小したため、参加者数は減ったが、子供も参加しやすい時間帯だったことで、滝呂湯も、例年子ども利用10人前後のところ26人、大人も12人と、予想以上にご参加いただけた。
		ふれあい秋まつり (共同募金配分金事業)		1	10月17日			1	500	●昨年は区民会館主催の「滝呂区文化祭」と同日開催で参加者数を増やしたが、今年度は別日開催で、単発の開催。教室発表や、児童センター一輪車クラブ発表、優が丘などにも協力いただき飲食物販売、名古屋城で活躍する『徳川隠密隊』のステージや手裏剣コーナーなど実施し好評。また、着ぐるみも呼んでの「共同募金クイズ」など、例年より子どもが喜ぶコーナーづくりをすることで、親子の観覧数上がり、昨年と同等数の集客をすることができた。
		ふれあい春まつり (共同募金配分金事業)		1	3月11日			1	550	●バザー・飲食物等販売や遊び・工作のコーナーを中心に、ステージでは「多治見中学校吹奏楽部演奏会」や、一輪車クラブ・セラリーナの演奏会を実施。民生委員や児童センター、老人センター利用者及びサークル等にボランティアスタッフをお願いし、地域交流事業と、子どもスタッフ・シニアボランティアの発掘・活躍の場として定着してきた。 ズカフェやうさぎの会、優が丘、なごみの杜など地域団体をお願いし、サンホームとしても出店、飲食販売を充実させることで、集客をアップさせることができた。
		小計		3				3	1,250	
		単発事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		児童センター合同 卓球大会		1	3月30日	子ども・高齢者・障がい者等誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。		1	23	●卓球大会は、児童センターと合同開催。児童対高齢者のトーナメント戦で、チーム内協力して白熱。3年連続優勝の老人センターを倒そうと、子どもたちが一年間練習するなど、年間を通して複合施設の利点を生かした交流ができています。例年参加していた高齢者が、高齢化やケガのため参加されなかったが、笠原アザレアの卓球教室などに声をかけ、新規参加者が増加。『来年も出たい』と楽しんでいただけた。次年度は児童センターと定期合同教室を開催してさらに参加者数を増やす計画。
		児童・老人・デイ合同 運動会		1	11月16日 11月18日			2	88	●運動会は、デイサービス、児童センターの幼児クラブと合同で実施。昨年まで1回だったところ2回開催。各センターの特性にあった運動やレベル設定、どの世代も楽しめる競技を対抗戦で行い、『幼児の頑張る姿を見るのが楽しみ』と毎年の交流を楽しみにしていただけている。
		児童合同 花もち作り		1	12月27日			1	59	●花もち作りは、サークル『さくらの会』にボランティアいただき、児童センターと合同で実施。毎年恒例で、『花餅を作らないと正月が来ない』と高齢者に人気。幼児連れ親子や一人で作ることが難しい方もあるが、早く終わった方やボランティアが手伝うことで、和気あいあいと交流、実施できている。また、小学生に、各センター用の大きな花もちを作ってもらい飾ることで、多世代交流と、伝統行事の伝承の場となっている。

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
多世代交流事業（続き）	1	節分豆まき	/	1	2月1日		/	/	●滝呂保育園とうさぎの会との交流事業だったが、27年度で終了。
		児童・老人・デイ合同 節分会【新】	/	1	2月1日		1	53	●デイサービス・児童センター・老人センターの合同事業として新規実施。幼児クラブとともにいき、レクリエーションや各センター職員がゲームの題材になって笑いをとったり、鬼の扮装などすることで、参加者も盛り上がった。伝統行事を伝えるため、今後も継続していく。
		児童・老人・デイ合同 新春お茶会	/	1	1月5日		1	75	●新春お茶会は、大正琴サークルが『演奏』、『お抹茶立て』でさくらの会(手芸サークル)など老人センターのサークルと、小中学生ボランティアが活躍。年明け早々にも関わらず多くの参加者にお越しいただき、また年代問わずボランティア参加を促せた。昨年度高齢参加者41人から、今年度高齢参加者51人と、高齢者の参加を増やすことができた。
		児童合同 盤上ゲーム会	/	1	8月1日		1	20	●囲碁サークルや利用者に協力をお願いし、小学生と『囲碁・将棋・オセロ』大会を実施。高齢者が小学生に教えたり勝負で盛り上がった。長期休暇中に、子どもたちが老人センターで囲碁を教えてもらう交流につながった。(※『教室参加児童』参照)
		さくらまつり	/	1	4月9日		1	52	●地域が実施する『さくらまつり』に、例年通り『ストリート囲碁』『うさぎの会飲食販売』『セラリーナ発表』で参加。囲碁に地域の子どもが参加するなど、楽しんでいた。昨年度までの『遊歩道開催』から『区民会館駐車場開催』へと今年度、規模が縮小し、ストリート囲碁参加者も減少したが、時間いっぱい楽しんでいた。
		教室参加児童	/	1	7月～3月		/	11	●『囲碁』『将棋』サークルに、小学校等の長期休暇中、希望する児童と一緒に参加してもらった。高齢者が児童に教える姿もあり、交流が深まった。(昨年度は、長期休暇中の『遊戯室利用教室』に参加した児童数をカウントしたが、今年度は、長期休暇中は教室を休みとしたため、教室参加はありません)
		母親クラブ合同行事	/	1	/		/	/	●母親クラブの会員が集まらず実施せず
		母親クラブ合同行事 (昨年度⇒母親クラブ合同料理教室)	/	1	8月18日		1	36	●今年度は『災害時炊き出し訓練』及び『救急救命講習』を実施。『元気印健康教室』内で実施したため、広く募集をかけてはいないが、『良いきっかけとなった』と喜んでいただくことができた。
		小計		11			9	417	
		計		14		12	12	1,667	—
地域交流事業	1	出前教室	定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		①市之倉7-2集会所 ②市之倉東公民館(なでしこサロン) ③【新】山百合サロン(愛岐パーク) (市之倉地域福祉協議会共催)	/	2	8月15日 11月9日 12月26日 3月27日	教室の紹介をし、利用者の拡大を図る。また、地域の、センターまで来ることができない方たちとの交流を図るほか、ひまわりサロン、老人クラブ等の支援を行う。	4	98	●市之倉では、地域福祉協議会と協力して開催。ひまわりサロンに出向く形で実施。山百合サロンを新規開拓し、これまでの若年層サロンだけでなく、90代など高齢世代が参加するサロンまで、幅広く関わることもできた。車でみえる若年層にPRして、教室参加につなげることができた。また、7-2集会所はひまわりサロン発足につなげることができた。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
地域交流事業（続き）	1	多悠連 愛友会(グリーンビレッジ滝呂台)		1	8月8日		1	20	●多悠連『愛友会』及び児童センターと合同で毎年実施。高齢化で参加者数が減ってきたが、子どもとの交流を楽しみにされ、手作りプレゼントを事前につけて待っていて下さるなど、 <u>生きがいづくりと意欲につながっている</u> 。輪投げ大会やデコケーキ作りで交流し、『楽しかった』『来年も元気で来ないかん』と喜んでいただけた。
		多悠連 百寿の会(滝呂台コモン集会所)		1	2月18日		1	16	●多悠連『百寿の会』、児童センターと合同で実施。高齢化で会場までの歩行可能者が減っている上に、 <u>多悠連代表から会員への連絡が前日だったとのことで、多悠連参加者は減ったが、子どもの参加は増加</u> 。じゃんけん大会やデコケーキ作りで盛り上がった。『来年も待ってる』と楽しみにしてくださっている。
		笠原森下センター		6	5月12日 7月7日 9月1日 11月17日 1月19日 3月3日		6	130	●地域の民生委員や有志が準備等も手伝ってくださり、憩いの場となっている。閉じこもりがちな方、一人暮らしの方を誘い、新規参加者も増えている一方、高齢化から、デイ利用へ変更・入院・死亡などで来られなくなる方も増えてきた。体力や得手不得手に関係のないレクリエーションでの勝負や歌を好まれ、男性参加者も増えている。
		40区		1	10月29日		1	131	●40区民生委員や福祉委員、多悠連、大和幼稚園と協力し、地域の高齢者を対象に、センター紹介と折紙講座を実施。センターでの行事や教室を知っていただく良い機会となり、参加に繋がっている。
		坂上サロン (ひまわりサロンひだまりサロン)		1	6月23日/10月24日(中止) 8月22日 1月23日		2	47	●代表者も高齢化しており、会側のダブルブッキングで6/23・10/24は当日中止。その為、講師を外部に頼む内容は辞め、職員が「回想療法」や「季節のレクリエーション」などを実施。90代が大半で、参加者数は昨年より半減したが、 <u>ここに来ることを楽しみに参加されている</u> 。
		小計		12			15	442	
		単発事業	定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		包括支援センター合同講演会			5月30日 11月29日 12月7日	身近な地域で健康講座や季節行事を行い、地域の仲間づくりや閉じこもりを予防する。	3	60	●合同講演会は、『お口の健口教室』『シナプソロジー』『成年後見制度(エンディングノート)』について実施。話題になっている内容を実施することで、 <u>市内遠方からも参加者が集うなど、新規開拓にもつながった</u> 。
		懐かしの映画会			6月29日 7月21日 1月23日		3	77	●『懐かしの映画会』は、昭和初期の映画を実施。「若い頃を思い出した」と喜んでいただく事が出来た。普段風呂利用のみの男性利用者等が多く参加され、 <u>男性利用者の獲得につながっている</u> 。
		企業タイアップ教室 『おなか元気教室』 (名古屋ヤクルト株)【新】			11月1日 1月13日		2	45	●定員20人とし、 <u>定員越えたため、2回に分けて開催</u> 。腸マッサージやハンドマッサージ、体に良い食べ物など教えてもらい、特に女性に好評。わかりやすく、年代にあった、体全体の健康の話をしてもらえるため、 <u>29年度も継続して開催予定</u> 。

項目	区分	具体的内容			目標・ねらい	年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
地域交流事業（続き）	1	『ウィンナーの飾りきり教室』（伊藤ハム）			12月18日				●企業との提携による教室。問い合わせたところ『年度内で市内に1事業所のみ の開催に変更した』との返事。28年度は南姫老人センターのみで実施。（29年度太 平老人センター）
		児童・老人・デイ合同 縁 日【新】			8月25日 8月26日		2	100	●デイサービス・児童センターと合同で開催。デイサービス内で縁日を行い、輪投 げや水風船、盆踊りなど懐かしい縁日のコーナーを作り、「懐かしい」と好評。施設 内を知ってもらったり、デイサービスがどういうところかを知ってもらうのに、良い機 会となった。
		児童・老人・デイ合同 納 涼お楽しみ会【新】		1	8月13日 8月24日		2	90	●新規事業。地域で活躍する『鈴姫マジックショー』『土岐高山城戦国武将隊』の 観劇を合同で実施。暑い時期はセンター来館の頻度が減っている高齢者も来館 いただくことができ、また、夏休み中の子どもたちのお楽しみ会としても好評を得る ことができた。次年度以降にもつなげていきたい。
		デイサービス合同敬老会			9月16日 9月17日		1	104	●デイサービスと合同で『日舞と三味線』『多治見中プラスバンド』鑑賞を実施。 「多中のプラスバンドが見たい」という声が多く、好評を得た。
		児童・老人・デイ合同 年 末お楽しみ会【新】			12月27日 12月28日		2	98	●デイサービス・児童センターと合同で『マジックショー』『陶都楽友協会』鑑賞を実 施。「納涼お楽しみ会」で好評だったマジックショーを再度企画。「年末の忙しい時 期だが、良い息抜きになった」と、どの世代にも喜んでいただけた。
		デイサービス交流会【新】			12月5日		1	22	●階が違うこともあり、交流会を実施してもなかなか直接お話ししたり、デイサービス を知る機会がない老人センター利用者を対象に実施。花餅づくりや体力測定など 共同で行った。『懐かしい顔に会えた』と喜んでいただけた。さらに <u>デイとの垣根を 低くできるような内容に変えて、次年度につなげる予定。</u>
		デイサービス合同 クリス マス会【新】			12月25日				●『年末お楽しみ会』に変更。
		小計		1			16	596	
		計		13		14	31	1,038	
個人利用	1		定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		浴場			祭日と臨時休 館日を除く月 ～金曜日	個人でも気軽に安心 して利用できるような 仲間作りの場の提供 をする。	243	11,670	●浴場・和室(娯楽室)利用は、長年毎日利用されていた方々が、高齢化で入院・ 死亡・転居・免許返還など多く、世代交代の時期となっている。毎月のおたよりや 教室でもPRすることで、 <u>団塊の世代</u> など若年層の新規利用者は増えている。（28 年度新規登録者59人） 浴場利用者の割合は、 <u>6割程度が男性</u> となっており、夫婦での利用者も多い。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
個人利用 (続き)	1	和室・マッサージ器使用			祭日と臨時休 刊日を除く月 ～土曜日		294	10,136	●和室利用は、マッサージ器・ヘルストロン利用だけでなく、テレビを見ながらくつろいだり、歓談したり囲碁を行ったり、と交流スペースとなっている。 教室参加者にもPRを行い、教室終わりにマッサージ機にかかる方が増加した。 和室・マッサージ器等利用者の割合は、7割前後が女性となっている。
		血圧計			随時		294	5,511	●入浴前後や毎日の健康管理をしていただけるよう、1階老人センターに設置。 入浴や教室前後、体調チェックとして定期的にご利用いただけるようになった。
		土曜和室利用者			祭日を除く 土曜日		51	189	●土曜日和室利用は、ほとんどがヘルストロン・マッサージ器利用。デイサービス利用者は利用しなくなったが、新規利用者が継続して使用するようになったことで、利用者増加につながった。
		小計					882	27,506	
		計		0		10	882	27,506	—
老人クラブ 支援	1		定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		施設利用のPR			随時	老人クラブの事業が円滑に行われるように連携をとり支援していく。	5	3	167
		小計		0			3	167	
		計		0			13	3	167
独自事業	2	介護予防教室	定員	回数	実施日	ねらい	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		いきいき教室		48	毎週金曜日	要介護状態となることを予防し、運動機能低下の防止・向上することを目的とする。	50	507	●二次予防運動事業として半期2回実施。 80代後半から90代半ばまでの高齢クラスだが、体力測定や身体測定等で身体機能の管理を行い、看護師、運動指導員やボランティア等の付き添う中、リズム体操やボールなど道具を使った運動で機能維持・向上を目指す。『教室に参加することで機能維持できている』『ここに来ることが唯一の楽しみ』と参加者に好評を得ている。包括支援センターと連携し、参加者7人から8人へ増加し、欠席も少なく好評を得た。
		小計		48			50	507	
		きらめきクラブ		36	第2・4金曜 第3火曜	仲間と楽しく料理作りを行うことによって、料理と栄養に関する知識の向上を目指す。団塊の世代の男性の趣味教養を高める。	35	453	●きらめきクラブは、折り紙を中心に、おやつ作りや季節の手芸など、参加される方の意見を聞いて実施。職員が講師を務め、自由参加で、定員は設けず、気軽に参加できるようにしている。教室で習った事を地域のサロン等で教えてみえる方もあり、シニアボランティアの育成にも繋がっている。参加費無料だったところを、28年度から1回100円または材料費をもらう回を作ったことで、参加者は減ったが、収入増にはつながった。(28年度収入31,273円)

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施 状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
独自事業 （続き）	2	小計		36			35	453		
		サークル	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 （回）	参加延べ 人数(人)	
		パソコンサークル			第1・3金曜日	いきがいきづくりとして 就業や生活に役立つ 技術を身につけて ゆく。		25	176	●パソコンサークルは、 <u>パソコン教室卒業生の受け皿</u> となっているが、高齢化により、参加者数は減っているが、生徒の疑問ややりたいことを反映し、精力的に授業を行っている。
		気軽に真向法サークル			第1・4火曜日			22	162	●真向法サークルは、参加者同士で教えあい、和気藹藹と実施。軍歌など歌いながら、体に無理のない体操ができる、と喜ばれ、一時高齢化で5人まで減った会員が <u>10人を超えるなど、参加者が増えている。</u>
		さくらの会			第1水曜日			12	149	●さくらの会は、参加者同士教えあい、教室参加を励みにされている方もあり、生きがいきづくりの場となり、参加者も増加。(制限によりキャンセル待ちあり) <u>ボランティア活動も活発で、イベント時の教室開催やスタッフなど、積極的に頑張って</u> おり、シニアボランティアとして活躍している。
		大正琴サークル			第2・4木曜日			26	242	●大正琴サークル、書道サークル、俳句サークルは、高齢化で辞める方も増えている。しかし、会員募集をおたよりやチラシで行ったことで、減少の一途だった <u>会員数を維持することができている。</u> 地域のイベントや作品展等での発表を精力的に行い、シニアボランティアとして活躍している。
		書道サークル			第1・3木曜日			24	147	
		俳句の会			第2金曜日			11	116	
		囲碁			随時			243	1,272	● <u>囲碁参加される方々は、イベント時のボランティアや、子どもに囲碁を教える講師なども快く受けてくださり、シニアボランティアとして活躍している。</u> 高齢化で参加される方は減っている。
		小計		0				363	2,264	
		ひまわりサロン	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 （回）	参加延べ 人数(人)	
		うさぎの会		12	第3火曜日	季節に合わせた食事と関係機関・ボランティア等と連携をとり、身近なテーマの講習、演芸等楽しい時間を過ごしていただく。		12	947	●ひまわりサロン活動として長年継続。老人センターは、講師や一芸団体の紹介、教室発表、事務局手伝いなど連携をとっている。月一回の機会を楽しみにおしゃれをして出かけてみえる方が多く、情報交換や安否確認の場ともなっている。地域の団体発表や、地域の区長、議員、警察の話など、地域の情報収集の場としても充実している。 <u>15年以上のひまわりサロンで、参加者も提供側も、高齢化から人数減少が進んでいる。</u>
		小計		12				12	947	
		計		60			12	460	4,171	—

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部附実施(軽微):8～7点、仕様書の一部附実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点